

国立国会図書館関西館第23回小展示

平成30年2月22日(木)～平成30年3月20日(火)

めづる 犬の本

—歴史から研究・物語まで—

身近だけれど奥深い
犬に関する本や雑誌
約100点をご紹介します

入場料金：無料

開館時間：9:30～18:00(日曜は休館)

展示会場：国立国会図書館関西館 閲覧室(地下1階)

年齢制限：なし(18歳未満の方は受付でお申し出ください)

お問合せ：電話0774-98-1341(関西館資料案内 9:30～17:00)

平成30年2月22日(木)～3月20日(火)
国立国会図書館関西館 閲覧室(地下1階)

入場無料

犬も歩めば本になる

—歴史から研究・物語まで—

古来、私たち人と共に生きてきた犬。最初に人と暮らし始めた動物として、犬は、人から影響を受けて今の犬になり、一方、人もまた犬を愛し、影響を受けてきました。

第23回の関西館小展示は「犬も歩めば本になる—歴史から研究・物語まで—」と題し、人と深く関わってきた犬の様々な側面をご紹介します。犬と人の紡いできた歴史、飼い犬と人の暮らし方の変遷はもちろんのこと、生物学や医学的な犬の研究、盲導犬や警察犬からタレント犬まで色々な職業で人のために働く犬、古今東西の作家が描いてきた犬に至るまで、身近だけれど奥深い犬について、本や雑誌約100点を用いてお伝えします。

戌年である今年、本を通して犬に触れ、私たちと犬との関わりをご覧になってはいかがでしょうか。

展示構成と主な展示資料

犬と関わる

『十二支画帖 犬之巻』伊勢辰商店、大正10。
『おもちゃ十二支 乾坤』川崎巨泉 画、だるまや書店、大正7-8。(資料1)

犬を飼う

『犬の飼ひ方』高橋虎雄 著、文化生活研究会、大正15。(資料2)
『ビジュアル犬種百科図鑑』ドーリング・キンダースリー社編集部 編、神里洋 監修、田村明子 訳、緑書房、2016.3。

犬を学ぶ

『犬を科学する』石橋晃、板橋久雄、桜井富士朗、島田真美、祐森誠司、本澤清治 監修、養賢堂、2017.4。

犬が働く

『Q&A盲導犬：ともに暮らし、ともに歩き、広がる社会』松井進 著、明石書店、2007.10。

犬を描く

『百々世草 第2巻』神坂雪佳 著、山田芸艸堂、明治42。(資料3)

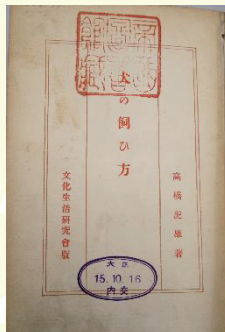
『動物記 第1巻』E.T.シートン 著、内山賢次 訳、白揚社、昭和12。



▲資料1



▶資料2



▲資料3

交通のご案内

電車でお越しの場合

- ・ JR学研都市線祝園駅／近鉄京都線新祝園駅より奈良交通バス「36系統 祝園駅 光台循環」「56系統または59・58系統 学研奈良登美ヶ丘駅」もしくは「37系統 けいはんなプラザ」に乗り、「国立国会図書館」下車(乗車時間10分程度)
- ・ 近鉄けいはんな線学研奈良登美ヶ丘駅より奈良交通バス「56系統または59系統 祝園駅」に乗り「国立国会図書館」下車(乗車時間15分程度)

お車でお越しの場合

- ・ 京都から: 京都→城陽IC(京奈和自動車道)→精華学研IC→西へ
 - ・ 大阪から: 国道163号→府道52号(奈良精華線)を北へ
 - ・ 奈良から: 国道24号→国道163号→府道52号(奈良精華線)を北へ
- ※駐車場・駐輪場は、9:30～18:00までご利用いただけます。



〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3
0774-98-1341 (関西館資料案内 9:30-17:00)
<http://www.ndl.go.jp/>

国立国会図書館



過去を読み、未来を読む。